

事務事業名	旧白根中央公民館維持管理事業		所属部局	総務部		単位番号	3135									
			所属課室	管財契約課		課長名	中込 修									
	☐ 実施計画事業		所属担当	財産管理担当		担当者名	小池 肇									
基本政策	基本計画体系	99 施策に結びつかないもの	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目						
				01	一般	0	2	0	1	0	6	0	2	0	0	6
政策		99 施策に結びつかないもの	事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業												
施策		99 施策に結びつかないもの		☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業												
			☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業													
			☐ 義務化されている協議会等の負担金													
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 年度) 期間限定複数年度 (年度) ~ 年度)		法令根拠													
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (22年度)												
	施設の維持管理に関する光熱水費の支払い			項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)												
	施設・設備の維持管理			光熱水費 2,771												
				通信運搬費 101												
				施設維持管理委託料 384												
				設備維持管理委託料 68												
				計 3,324												

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	22年度活動実績	施設維持管理の光熱水費の支払い 施設・設備維持管理委託
	23年度活動予定	施設維持管理の光熱水費の支払い 施設・設備維持管理委託
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	旧白根中央公民館	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしているのか、どのように変えるのか)	適正管理	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	適正管理	

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 管理支払件数	件
	イ 委託件数	件
	ウ	
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 延床面積	m
	イ	
	ウ	
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 利用者からの苦情件数	件
	イ	
	ウ	
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 維持管理経費	円
	イ	

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円		1,072	1,072	660	660	660	
			一般財源	千円		2,252	2,645	3,054	3,000	2,900	
	事業費計 (A)			千円	0	3,324	3,717	3,714	3,660	3,560	0
	人件費	正規職員従事人数	人		1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間		24	24	24	24	24	245	
		人件費計 (B)	千円		0	107	95	95	95	971	0
		(A)+(B)			千円	0	3,431	3,812	3,809	3,755	4,531
活動指標	アイウ	件			3.0	3.0	3.0	3.0	3.0		
	アイウ	件			3.0	3.0	3.0	3.0	3.0		
対象指標	アイウ	m ²			1,238.0	1,238.0	1,238.0	1,238.0	1,238.0		
	アイウ	件									
成果指標	アイウ	件									
	アイ	円			3,324.0	3,717.0	3,952.0	3,952.0	3,952.0		

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	22年度より市役所本庁舎の一部として商工会南部センターを、または一とふるセンター返還により生涯学習施設の一部として商工会北部センターを活用し、その代わりに白根中央公民館の一部を商工会本所として利用する。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	現在、白根中央公民館は、市美術館、市商工会、さがる館(障害者自立支援施設)が入居しており、それぞれ維持管理を行っている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容！】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由！】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	電気料については、子メーターを設置し、料金の明確化を図った。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	電気料については、子メーターを設置し、料金の明確化を図った。

事務事業名	旧白根中央公民館維持管理事業	所属部	総務部	所属課	管財契約課
-------	----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 施設の維持管理経費を考えると、必ずしも経費の削減につながっていない。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 実際のところ、商工会の使用が主な部分である。将来的に、市美術館、さがる館の事業継続を含め、施設のあり方を検討すべきである。
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 このまま商工会へ貸付を行っていくことがよいのか。市の施設であれば、今後も老朽化による修繕等が発生してくるのではないかと。
有効性 評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 市の施設としてこのまま貸し付けを行っていく以上向上させることはできない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 商工会と契約締結しているため。 ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 商工会と契約締結しているため。
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 管理経費の支払い業務が主である。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 現在のところ、光熱水費の支払い業務のみであり、削減の余地はない。
公平性 評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	白根中央公民館は、老朽化も進んでおり、将来的に返還を求めるような施設ではないと思われる。このため、時期契約更新時には、譲渡も含め検討すべきである。早く手放すことが、経費の削減にもつながる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>☐</td> <td>☒</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>☐</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☐	☐	☐																		
	維持	☐	☒																			
	低下	☐																				
(2) 改革改善案について																						
① ② ③																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																					
① ② ③	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑫</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑫	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑫																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					